



第 28 号

2021年 8 月 31 日

J P 労組新潟連協退職者の会

〒951-8799 新潟市中央区

東堀通 7 番町 1018 新潟中郵便局内

発行責任者 会長 戸田 庄一

編集責任者 編集長 山岸 篤

## 私たちが主体となり 仲間を増やそう



新潟連協退職者の会

第7回定期総会を開催する

7月30日、新潟東映ホテルにおいて「J P 労組新潟連協退職者の会第7回定期総会」が開催されました。

ご来賓として、新潟県退職者連合の早川武男会長と、J P 労組組織内議員の近山修阿賀野市

議会議員に中川健二佐渡市議会議員、組織内からJ P 労組新潟連絡協議会の福井正史新議長に木伏寿幸前議長の計5名を迎え、25名の支部代表と幹事12名、会計監査1名、職員1名の総勢44名が参加しました。

議長に、魚沼支部代表の佐藤康二さんを選出し、戸田会長、ご来賓のあいさつ  
のあと、2020年度活動報告・会計報告・会計監査報告と、2021年度の  
活動計画(案)及び予算(案)、連協退職者の会運営規則等の改正(案)が提案され、  
5名の支部代表からの質疑のあと、一括して全体の拍手で承認されました。

昨年に引き続き、総会後の懇親交流会は、感染リスクを回避するため中止  
となりました。



### 戸田会長のあいさつ



本日は、ここに新潟連協退職者の会の第7回の総会を開催することができ、昨年に続きホットしております。

実は、予定されていましたが、「退職者の会の全国総会」は、作年に続き今年も「文書」による総会となりました。

#### コロナ禍

ご承知のように、4度目の緊急事態宣言が出された東京では、オリンピックが開催されている一方で、新型コロナウイルスの感染者は拡大し、昨日まで三日連続で3千人を超え、全国ではついに1万人を超えてしまいました。

首都圏での感染拡大にとどまらず、全国的な拡大傾向となっており、まったく先行きの見えない不安な状況が続いています。

ところが、対策をつかさどる政府、その最高責任者は、「人流は減少している、高齢者の感染割合は少ない」と言い、その言葉や態度からは危機感のかけらも感じることができません。

28日には会見を拒否したとの報道もされてきました。

#### 政治情勢

昨年の連協総会の日、9月16日菅政権が発足しました。

以降、約10ヶ月、コロナ対策の  
不手際は言うに及ばず、カネに関わる大臣の辞職、買収による起訴・裁判による前代未聞の再選挙、学術会議任命拒否問題等々、問題を挙げれば切りがありませんし、そして何一つ説明していません。

2日ほど前、テレビで司会者と評論家のやり取りを聞いて、情けなくなりました。

「菅さんは言葉が足りない。あれだけでは国民は理解できない」……と。

「言葉が足りないのではなくて、理解させることができないのではないですか？」……と。

同感というほかないのですが、肝心なことは、能力ではなく、それを許している背景、国会における圧倒的多数の与党勢力の存在です。

今度こそ、次の総選挙で、緊張感ある政治状況を作り出さなければなりません。政治の流れを変えるチャンスととらえ、皆さんがこれまで培った経験を活かし、それぞれの地域で奮闘いただくことを期待します。

## 参議院選挙

来年夏の参議院選挙については、すでに「J P 労組組織内 予定候補・しば慎一中央副執行委員長」の取り組みをすすめています。

第一次集約の結果、率直に申し上げて頑張っていたらと感謝しています。

前回選挙の反省をしっかりと行ってきたこと。4月の拡大支部代表者会議で、新人であることなど、今次選挙の厳しさ等をお互いに確認したこと。その場で予定候補者本人が来て、立候補の決意等を披瀝したこと等々が、功を奏していると考えています。

いずれにせよ、参議院選挙はこれからです。当選に向けては、後援会加入者を一人でも多く集めること、その後援会加入者に必ず投票に行ってもらうことです。これしかないのです。



退職者の会としての役割をしっかりと果たしていきたいと思います。

あわせて、新潟地方区は一人を選ぶ選挙です。「森ゆう子」再選に向けて、しっかりと取り組んでいきます。



## 運営規則等の改正

本日、お手元に第3号議案として、「新潟連協退職者の会運営規則等の改正(案)」を提出させていただきます。

その内容は、組織慶弔制度の変更、組織設立時に信越独自の激変緩和措置としての、実質6年間の経過措置の解消等々に伴うものです。

すでにこの内容は、連協幹事会をはじめ支部の皆さんにも明らかにし、ご意見をいただいたうえでの提案でございますので、ご理解いただきたいと思います。

## この一年 検討してきた課題の結果

### 組織慶弔制度

全国的に検討されてきた「組織慶弔制度」は、すでにこの4月から実施されていますが、米寿のお祝いを組織慶弔制度から切り離し、J P 労組本体のお祝い制度として新設し、もって組織慶弔制度の財政基盤の安定をはかる、というものです。

同時にこの見直しでは、財政基盤の安定化のために、各地方に「組織慶弔制度安定会計」を創設することとされています。

これを受けて、7月21日開催された「第7回信越地方総会」では、「信越地方組織慶弔制度安定会計」を創設いたしました。

今後5年間、両連協から15万円ずつ積み立て、慶弔会計が赤字になったときは、連協の積み立て中から補てんする、というものです。

### 出資金の調査・返戻

全労済・旧新潟総合生協の出資金の調査・返戻の取組みを行いました。

現役の時に、共済商品等に加入すると、配当金等が出資金に積み増しされ、退職時に解約しなかったため、そのままになっていた出資金があったことから、退職後の状況を調査し、必要に応じて返戻等の請求を斡旋・周知・手続きをしたものです。

会員897名を含む1,195名の方が請求され、約333万円強の出資金をお返しすることができました。

返戻請求された皆さんからは、大変感謝されたところでした。

### 会費徴収事務

会費徴収事務作業は、年に1回、パソコン作業があったことから、これまでは、支部の皆さんには負担が大きい作業でした。

そこで、ゆうちょ銀行の制度変更を機に、会費徴収事務を支部から連協で一括執り行う、としたものです。担当は相当苦勞したようですが、ゆうちょ銀行法人サービス部の支援をいただき、かつ、支部の協力をいただきまして、引落件数1,736名で、引落できなかった会員は4支部6名で、成功裏に終了しました。

改めて感謝しますとともに、連協での事務作業のポイントは、会員名簿の現行化・正確さです。

引き続き、会員の動向等の把握に心がけていただきたいと思います。

### 組織の拡大

あえて最後にしたのですが、新潟連協退職者の会の最大の課題は、「仲間づくり・組織の拡大」です。

残念ながら、毎年50名くらいずつ減少し、2,000名を割る手前の状況となりました。

会員の拡大は、協力会員の拡大が大きなポイントとなることは、ご承知のとおりです。現役の皆さんの協力もあり、年々増えてきています。

ここで皆さんに再認識いただきたいことは、取り組みの基本は、あくまでも退職者の会だということです。

現役に職場での対応をお願いするにしても、側面からの応援として、退職者の会で家庭訪問を実施したり、時給制社員や管理者といった、ややもすると現役の皆さんが対応しづらいところは、退職者の会で対応する等、現役と相談しながらも主体的に進めている支部もあります。

面識がないとして現役任せではなく、あくまでも主体は自分たちなんだ、との認識が大切です。

退職者の会へのさらなるご協力と、皆様が健康でご活躍されることをお願いし挨拶と致します。

## 第7回定期総会 ご来賓一覧

団体名	役職	氏名
新潟県退職者連合	会長	早川 武男 様
阿賀野市議会	議員	近山 修 様
佐渡市議会	議員	中川 健二 様
J P 労組 新潟連絡協議会	新議長	福井 正史 様
	前議長	木伏 寿幸 様

## お祝いメッセージ

参議院議員 打越 さく良 様

## 信越地方退職者の会 第7回定期総会を開催

7月21日、上越市・ホテルハイマートにおいて「J P 労組信越地方退職者の会第7回定期総会」が開催されました。

ご来賓に、米持 J P 共済生協信越地方部長を迎え、両連協代表8名、地方幹事6名、J P 労組担当1名の計16名の参加で行われました。

議長に、長野連協の宮澤代表を選出し、信越地方退職者の会・戸田会長から、「組織の拡大」「総選挙・参院選」「組織慶弔制度安定会計の創設」についてあいさつがありました。

続いて、塚野 J P 労組信越地本委員長から、オブ参加した地本専従役員5名について、地本定期大会において、役員改選で信任されたことを紹介し、代表して「グループ全体の経営状況」等についてあいさつがありました。

また、ご来賓の米持 J P 共済生協信越地方部長からは、「頻発する自然災害」「高齢者人口と運転事故等の推移」等についてあいさつがありました。

次に、青木事務局長から、2020年度の活動報告と2021年度活動計画(案)が一括提案されました。

J P 労組全国大会で、退職者の会運営規則の改正が行われ、新しい組織慶弔制度がスタートし、より制度を安定させるため、地方に「組織慶弔制度安定会計」を創設することとなり、その会計処理等の説明を受けたあと、提案された議案については全員の拍手で確認されました。

総会終了後には、昨年コロナ対策で中止した交流会を、地本専従役員も含め開催しました。



## 新潟県退職者連合 第29回定期大会

早川武男会長が勇退

斎藤由宣新体制を確立！

8月23日、「新潟県退職者連合第29回定期大会」が、万代シルバーホテル(新潟市)において、日本退職者連合・人見会長をはじめ、多くのご来賓を迎え開催されました。

万全な感染症対策のうえ、昨年に続き参加規模の縮小と開催時間を短縮しての大会となりました。

今大会は、役員改選を伴う人事大会でもあり、3期6年(通算13年)就任された早川会長(N T T 労組)が勇退され、斎藤新会長(自治労)・眞田事務局長(基幹労連)の新体制が確立されました。

J P 労組退職者の会からは、山田太郎事務局長が、引き続き副会長に留任され、渡辺五四六幹事(中越支部)が退任され、代わりに佐藤修一幹事(新津支部)が新たに就任されました。

- 活動方針では、
- ◆ 社会保障問題への対応
  - ◆ 福祉事業団体との連携
  - ◆ 政治の流れを変える取り組み
- 等について確認されました。



新潟県退職者連合 幹事会役員(部内派遣者)

役職	氏名	J P 新潟・退職者の会
副会長	山田 太郎	事務局長
幹事	佐藤 修一	幹事

長寿で健康  
生き生きコーナー

# 晴耕雨読



## 長生きの秘訣 始めませんか 家庭菜園

西蒲原支部（吉田分会） 高村 太郎 さん（85歳）

戦前戦後の食料不足の時代に生まれた私達にとって、生きることの大変さを体験して、戦争のない平和の大切さを身をもって感じます。

戦後の農地解放により、政府の農業政策で耕地整理され、機械化や化学肥料の進歩によって米が過剰生産となり、生産調整のため休耕政策が各農家に割当てられました。

私の母親の実家も町農家でした。町の住宅に近い田圃を転作地にしたので、郵便局を退職していた私にも家庭菜園の仲間入りを勧められ、今日に至っております。

野菜作りの基礎知識を知るために先ず書店に行き、購入したのが成美堂出版の「はじめての家庭菜園」でした。有機栽培の基礎知識で、実もの、葉もの、根もの、五十音順で野菜が見つけれられる、人気70種が学習できる素晴らしい参考資料で、これにより、色々な野菜に挑戦して、晴耕雨読で今日に至っています。

これまでに苦労したのは、田圃の地を野菜作りの土質に改良することで、とても大変な作業となりました。

自宅からは遠いので、農作業用具の鍬・スコップ・肥料を保管する物置が必要だったことから、廃材を利用して自分で間口一間・奥行一間半の物置作りに、腰を据えて挑戦し完成させました。

先輩の皆さんからは色々と勉強させていただきました。その仲間も、高齢のために5年前と2年前に引退され、現在は2人だけとなりました。

畑は、県立吉田病院の近くの住宅団地で、JR弥彦線の脇ですが、たまに県外ナンバーの自動車が駐車し、カメラマンが列車の通過時間を見て写真を撮りにきます。

友人も時々立ち寄ってくれますので一層精も出ますし、これからも人並みの野菜を作りたいと思っております。

収穫は、玉ネギ・空豆・キュウリ・ナス・トマト・枝豆・大根・白菜・キャベツ等で、お裾分けしてやり大変喜ばれております。



(参考とした1冊)

そのほか、退職後は町内会、老人会等の役員のご依頼もありましたが、OB会の幹事と菩提寺の世話方をしておりましたので、町内の役員は辞退していますが、各種行事には進んで参加しております。

やはり、皆さんとの旅行が一番です。今まで毎年OB会、労年金友の会、町内会、菩提寺親睦会、従兄弟会の旅行に参加していましたが、昨今のコロナ禍のために、昨年からは中止となり残念でなりません。

早々にコロナが終息して、皆さんの元気な顔が拝見出来ますことをお祈り申し上げます。

お互いに、健康に留意し頑張って長生きしましょう。

## よい眠りを得るための十カ条

1. ストレスをためない工夫を(趣味を持つこと)
2. 規則正しい生活に努める
3. 太陽の光を浴びる
4. 適度なスポーツを楽しむ
5. 入浴やシャワーで解放感を
6. 読書や音楽でリラックスを
7. 夕食は腹八分目で
8. 楽しい思い出の短いストーリーを作りながら眠る
9. 好きな香り(アロマ)を利用する
10. 寝室は金をかけてゴージャスに

## 楽しい旅行



(1996/10/23 支部退職者の会の旅行、後列右から4人目帽子姿がご本人)

# 長寿で健康 生き生きコーナー

# 死の崖っぷちから生還

三 条 支 部

鈴木昭吾さん(69歳)

13年前の10月、急激な痛みと苦痛にあい救急車で病院へ、しかしその病院では手に負えないと専門家のいる病院へ転院。

病気の原因は虫歯の根元から入った細菌が心臓の血管を侵し、血液により脳のほうまで病魔が侵入したのです。

心臓の部分は、足のところからの血管でバイパスを作りました。医者からは、手術中に亡くなるかもしれないと言われていました。

手術は成功しましたが、「話ができない」「右目の半分は神経がやられたように見えない」状況でした。

約3ヵ月、歩行訓練や箸で豆をつかむ訓練などをしました。杖をついての歩行がやっとできるほどになり退院、一言二言発言できるようになるまでには約1年。それまでは、人の話にうなずくだけでした。

心臓の手術をしたので無理なりハビリはしないように言われていますので、家の中を歩くことにしていました。



当初は、杖でやっと歩いていましたが、今は杖なしで中二階の階段を昇り降りできるようになりましたし、スーパーでの買い物も妻のお供をしながらカートを押しています。会話は以前のように出来ませんが、日常生活に問題ないまでになりました。

このような状況ですが、妻・子供や孫たちなど家族に支えられ、今は楽しく過ごしています。

また、一人で出歩くことは出来ませんので、昔の職場の皆さんとのふれ合いが楽しみです。

過日、昔の職場の皆さまから一泊の飲み会のお誘いを受けました。大変うれしくお酒は飲めませんし泊りは無理でしたが、妻から送ってもらい夜遅く迎えに来てもらい親睦を深めることが出来ました。

また、退職者の会の各種行事には参加出来ませんが、総会及び総会後の懇親会に、妻から送迎してもらい参加しています。懐かしい人たちとの交流会を楽しみにしています。

これからも元気な限り参加して参ります。

## 投稿コーナー

### (俳句)

〈句集「あゆみ十号」より〉

リハビリの成果が声に夏木五

田尻に友人を見舞う。外見では、  
分からないほど回復していた。

諍いの真中抜けて鬼ヤンマ

いい男どうしの諍いの中を鬼ヤンマが  
抜けてゆく。自分の裁量のなさを  
感じられた男たちの和解となる。

中越支部

角山徳郎

今回の連協総会において、このコーナーについての、ご意見と感謝のお言葉をいただきました

機関紙の創刊以来、文化欄に俳句を設けていただき、この欄を見ている方から連絡をいただくこともあり、こういう活動も大事だなあと感じています。会員ではありませんが、余命数年と言われながら、俳句を通し、俳句を考へることによって、病気を克服して、今も元気に頑張っておられる方がいます。

文化活動は、直接経済的なものに関わるものではないかもしれませんが、心の問題や友情に非常に大きく結びつくものであり、設けていただいたことに感謝しながら、さらに、幅を広げていただきたいと思います。

俳句・短歌  
川柳・絵手紙  
絵画・写真  
書・手作り作品

を募集しています。応募は、葉書か適宜な用紙に「作品・支部・氏名」を記入。絵画・書・手作り作品は、写真に撮って封書で送付してください。

〒951-8799 新潟中郵便局内  
J P 労組新潟連協  
退職者の会 まで郵送

## お知らせコーナー

## 悠友会 第6回 ゴルフ大会

〈退職者の会ゴルフサークル〉

参加者募集中

開催日：2021年10月5日(火) 受付8:30まで  
 場所：新潟サンライズゴルフコース  
 (北蒲原郡聖籠町東港 2-160-6)  
 電話 025-256-2211

競技方法：新々ペリア方式  
 参加費：1,000円 プレー代：8,310円  
 申込締切：9月18日(土) 厳守 返信ハガキで

新入会員をご紹介します

初めましてよろしく  
お願いいたします (敬称略)

歓迎!

支部	氏名	加入日
西蒲原	池内 富蔵	2021年7月1日

県内全支部の慶弔者名を掲載します

おめでとうございます

(2021年5月~7月) (敬称略)

慶事	月	お名前	支部
喜	5月	屋敷 幸子	佐渡
		田代 登	三条
		磯部 嘉勝	魚沼
		片山 日出海	上越
寿	6月	阿部 重義	新津
		田崎 正安	三条
		金勝 隆保	上越
寿	7月	松浦 秀夫	新潟
		加藤 美知子	下越
		米山 節子	下越
		長谷川 慧輔	三条
		広井 和子	魚沼
		高橋 勝彦	高田

お悔やみ申し上げます

(2021年2月、5月~7月) (敬称略)

月	お名前	支部	ご逝去日
2月	澤野 昭三	新潟	2021/2月
5月	大井 純	新潟	1日
	小庄司 与悦	新津	1日
	佐藤 重夫	魚沼	2日
	菊池 達也	佐渡	5日
	田沢 敏弘	新津	5日
	山森 強	魚沼	5日
	羽下 真一	新津	20日
	伊藤 専太郎	上越	20日
	前島 隆	下越	26日
	中村 欣也	中越	29日
6月	吉田 文男	下越	30日
	柿村 克彦	上越	7日
	寛 源太	上越	8日
	岡崎 政男	西蒲原	9日
	田中 兵一郎	西蒲原	14日
	浜崎 美津夫	下越	18日
	登石 ノリ	新潟	22日
7月	小熊 勇次郎	中越	28日
	稲垣 恵造	下越	4日
	吉川 敬	中越	8日
	加藤 正明	下越	12日
	長橋 節雄	新潟	18日
鈴木 勘治	上越	18日	

## 豪雨

8月11日から降り始めた連日の大雨で、九州の一部では、18日までで平年の年間降水量の半分を超えた地域がありました。

国交省HPによると、近年の水害による犠牲者の約9割が非難行動をとって  
 いなかったといえます。 **早めの避難を!!**

“自分が生きてきた中で経験ないから大丈夫”は、もう通用しません。

